

患者のみなさんと病院をつなぐ

かけはし

地域包括ケアについて

厚生労働省は、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進しています。この地域包括ケアシステムは「住まい・医療・介護・予防・生活支援」の5つの構成要素が一体的に提供されることで在宅の生活を支えていくことを目指しています。

そこで、当院においては地域包括ケアシステムの中核病院となるために、「医療」の対応として、今年の7月より一般病棟を地域包括ケア病棟に変更しました。これにより、大病院からの転院がスムーズになると共に、リハビリテーションを充実させることで在宅復帰に向けたサポートを強化することができました。

また、在宅での「医療・介護・生活支援」をスムーズにおこなうための在宅支援センターを設置しました。さらに、訪問診療・訪問看護・訪問リハビリ・居宅介護支援・退院後の生活設計などの各種サービスへの相談を一か所に対応できるように正面玄関すぐ横に総合相談窓口を設けました。

また、「予防」についても、今年度より住民健診の予約を健診センターで行うことで細やかな日程調整が可能となり、今後は地域住民の健康維持のために来年1月には第1弾となる骨粗鬆症の公開講座を開催します。

芦屋中央病院は町の病院として、地域の方々が可能な限り地域で生活できるように包括的な支援体制を構築しますので、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。



病院長 櫻井 俊弘

病院開設の理念

1. 地域住民に信頼される病院
2. 地域医療機関に信頼される病院
3. 職員に信頼される病院



緩和ケア病棟が新設されました

緩和ケア病棟師長 三村 由江

平成30年3月に芦屋中央病院は新築移転し5月より新しく緩和ケア病棟が開設されました。

当院の緩和ケア病棟は3つの理念を掲げています。

- ①がんと共に生きる人の思いを尊重し、その人らしく過ごせるように可能な限りの支援をします。
- ②患者さんご家族が抱える身体や心のつらさが和らぐように努めます。
- ③地域の医療機関との連携を通して、在宅での療養生活の支援も行います。

緩和ケア病棟は、がんそのものを治すことが難しい状況にある患者さんの辛い症状を和らげ、患者さん、ご家族が大切な時間を最後まで有意義に過ごせるよう多職種がチームとなりケアを行っています。

病床数は15床あり、全室個室です。患者さん、ご家族がゆったりと過ごしていただけるよう様々な設備を備えています。例えば、家族控室(和室)やキッチン、食堂を備えたコミュニティルームがあります。そこからはバルコニーに出ることもでき、お天気の良い日には玄界灘を眺望する事もできます。



キッチン



バルコニー

緩和ケア病棟に入院するためには、かかりつけ医師からの紹介状(診療情報提供書)が必要となります。また、患者さん自身に告知している事も必要です。まずはかかりつけの病院にご相談ください。紹介状が当院に届いた後、患者さん、ご家族との面談を行い、入院受け入れの判定会議で入院の可否を決定します。

一般の病棟とは入院方法が異なり、入院・退院についての基準もありますので、緩和ケア病棟についてのご相談やご質問は4階緩和ケア病棟又は患者支援センター総合相談窓口へお気軽にお問合せ下さい。



新任医師の紹介



肝臓内科医師

ひ うら まさ あき
日浦 政明

本年度4月より赴任しました日浦政明です。産業医科大学を卒業し、全国の労災病院勤務や2年間の産業医などを経て、大学では主に肝疾患に関する臨床や研究を行ってきました。芦屋中央病院では肝疾患のみならず、広く内科全般の診断や治療、また新病院となり緩和ケア病棟ができましたので、そちらにも力を入れて参ります。患者さんや近隣の先生方にも信頼されるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。



腎臓内科医師

なか また じゅん いち
中俣 潤一

10月より赴任しました中俣潤一と申します。私は産業医科大学の出身で、平成20年10月から半年間当院で勤務していましたので、ちょうど10年ぶりに復帰したことになります。

専門は腎臓内科、透析で国民病の1つとも言われる慢性腎臓病に対して、また透析患者さんの管理についてこれまで以上に頑張る所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。



消化器内科医師

たか だ やす みち
高田 康道

本年度4月より赴任しました消化器内科の高田康道と申します。3月までは福岡大学筑紫病院に勤務しており、上下部消化管・小腸内視鏡検査、消化管造影検査や各種治療を行ってまいりました。皆様に安心していただける医療を提供できるよう努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。



整形外科医師

すえ のもと なお や
舩本 直哉

10月より赴任しました舩本直哉です。出身大学は産業医科大学で、今年9月までは産業医科大学病院整形外科にて勤務していました。大学時代からよく来ていた芦屋で勤務できることになり大変嬉しく思っております。まだまだ未熟者ではありますが、芦屋町の方々のお役に立てるよう精一杯頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



消化器内科医師

み くも ひろ ゆき
三雲 博之

本年度4月より当院に赴任いたしました消化器内科の三雲博之と申します。福岡大学筑紫病院消化器内科に所属しております。今回初めての関連病院勤務ということで不安はありましたが、同門の先生方もいて仕事がしやすい環境であり、ほっとしています。外来、各種検査を行っていますが、まずは地元の要望に合った医療を行い、病気だけでなく人をしっかり診ていけるよう真摯に努力していこうと思っております。よろしくお願いいたします。

芦屋中央病院 公開講座

【骨粗鬆症の予防と治療】

～今日からはじめよう！強い骨！骨折予防！！～

骨粗鬆症の予防・治療は骨折予防だけでなく、寝たきり予防や健康寿命延伸にもつながります。当日は講座だけでなく運動指導も予定していますので、動きやすい服装でお越しください。

- ▶ と き 平成31年1月26日(土)
10時30分～12時(10時 受付開始)
- ▶ と ころ 芦屋中央病院2階 大会議室
- ▶ 定 員 50名(先着順)
- ▶ 講 師 芦屋中央病院骨粗鬆症委員会 委員一同
- ▶ 参 加 費 無 料
- ▶ 申し込み 芦屋中央病院 地域連携室 古家宛
☎093-222-2931

※お電話での事前申し込みをお願いします。

診 療 科	時間	月	火	水	木	金	土	
消化器内科	午 前	櫻 井	宇 野	高 田	三 雲	高 木	(交替で診療)	
	午 後	高 田	炎症性腸疾患 櫻 井(予約制)		三 雲			
肝 臓 内 科	午 前		日 浦					
内 科	午 前			呼吸器 第1週 矢寺、第2週 花香 第3週 野口、第4週 花香		膠原病 宮 田		
		高 木	占 部	日 浦	占 部	櫻 井		
			循環器 鍋 嶋	循環器 荒 木	循環器 大 江	循環器 村 岡		
		糖尿病 松 下		糖尿病 松 下		糖尿病 松 下		糖尿病 成 澤
	午 後	日 浦	松 下	占 部	高 木	占部(三雲)		
			循環器(再診) 鍋 嶋	循環器(再診) 荒 木	循環器(再診) 大 江	循環器(再診) 村 岡		
		糖尿病 松 下		呼吸器 近 石	神経内科 先 成			
泌 尿 器 科	午 前	井 上	井 上	井 上	井 上	井 上	井 上 (第2・4週休診)	
	午 後	井 上 (女性専用診療)	井 上					
整 形 外 科	午 前	河 野	舩 本	河 野	河 野	舩 本	産医大医師	
		舩 本	産医大医師 佐羽内(第1・3・5週) 弓 指(第2・4週)	村 田(第1・3・5週) 小 杉(第2・4週)	舩 本	産医大医師 山 田(第1・3・5週) 藤 谷(第2・4週)		
	午 後		産医大医師 佐羽内(第1・3・5週) 弓 指(第2・4週) ※午後受付15:30まで	産医大医師 村 田(第1・3・5週) 小 杉(第2・4週) ※午後受付15:30まで	担当医 手術の際休診	産医大医師 山 田(第1・3・5週) 藤 谷(第2・4週) ※午後受付15:30まで		
スポーツ外傷・障害専門外来		16：00～ 迫 田	16：00～ 迫 田	16：00～ 迫 田	16：00～ 迫 田		迫 田	
外 科	午 前	水 田(新患)	永 渕	水 田	水 田(新患)	永 渕	(交替で診療)	
		井 下(再診)			井 下(再診)			
	午 後	永 渕			水 田(新患)			
					井 下(再診)			
眼 科	午 前			平 田			松 下	
皮 膚 科 形 成 外 科	午 前			石 井(第1・3・5週)				
	午 後				石 井(第2・4週) 月初めが木曜日の場合 第3・5週に変更になります			
腎 外 来	午 前	中 俣(再診のみ)	中 俣(新患)	中 俣(再診のみ)	中 俣(新患)	中 俣(再診のみ)		

受付時間	午前 (月曜～金曜) 8:00～11:30 まで (土曜) 8:00～11:00 まで
	午後 (月曜～金曜) 12:30～16:00 (リハビリは 18:00 まで)
スポーツ外傷・ 障害専門外来 受付時間	(月曜～木曜) 16:00～17:00 (土曜) 午前中

地方独立行政法人

芦屋中央病院

〒807-0141 福岡県遠賀郡芦屋町大字山鹿283番地7

TEL 093-222-2931(代)

FAX 093-222-2176(代)

FAX 093-223-0301(地域連携室)

e-mail hospital@ashiya-hp.jp

URL : <http://www.ashiya-central-hospital.jp>



- ・JR遠賀川駅から芦屋タウンバス「芦屋中央病院玄関前」行きにて「芦屋中央病院玄関前」バス停下車
- ・JR折尾駅から北九州市営バスにて「芦屋（第一乗屋）」または「芦屋（鶴松団地）」行きにて「芦屋中央病院下」バス停下車

※午後は手術のため休診になることがありますので、お問い合わせの上ご来院ください。

〔編集・発行〕地方独立行政法人 芦屋中央病院 広報戦略会議